



## 関西支部 8/19「第122回醗酵学懇話会」報告

2024年8月19日（月）に本会関西支部主催で「第122回醗酵学懇話会」がアサヒビール株式会社吹田工場で開催されました。2018年8月以来、6年ぶりとなるビール工場での見学会を伴った開催です。会場をご提供いただいたアサヒグループ様からの腸内環境の改善に関する研究成果のご紹介に加えて、ゲノム・DNA合成やバイオエコノミーにまつわる最先端のトピックを各界の著名な先生方をお招きしてご講演いただきました。各先生の魅力的な講演トピックだけでなく、久しぶりのビール工場での開催ということも相まって、学生19名と企業の方28名を含む76名もの方々にご参加いただき、とても盛況な会となりました。

今回はアサヒグループ様の全面的なご協力を得て、新型コロナウイルスの影響などで長らく実施できなかったビール会社での工場見学会をアサヒビール株式会社吹田工場にて開催しました。吹田工場と茨城工場の2ヶ所にある体験型ミュージアムのうち、吹田工場のアサヒビールミュージアムツアーを見学会として体験させていただきました。シアター、工場見学、試飲の3つから構成されるツアーをご案内いただきましたが、「お客さまの記憶に残る最高の一杯」のために挑戦しつづけてきたアサヒビールの過去・現在・未来や、大規模なビール醸造・パッケージングなどの設備や実際の様子がよく理解できるツアーでした。最後に、試飲として最高の一杯も堪能させていただき、記憶に残る見学会となりました。時間の関係上、セミナーの前に見学会を行う変則的なプログラムでしたが、見学会ツアーと軽い一杯の余韻で適度に緊張もほぐれてスムーズに講演会を進めることができましたように思います。



アサヒビール株式会社吹田工場（アサヒビールミュージアム）での見学会の様子

講演会では、まず高橋夢月先生（アサヒグループ食品株式会社）から「酵母のチカラで腸を元気に！」と題してご講演いただきました。ビールおよび酵母エキスの製造工程でそれぞれ得られる副産物であるビール酵母と酵母細胞壁の有効活用に向けた機能性研究として、特に食物繊維に着目した腸内細菌叢や代謝産物への作用について、商品開発例を含めた最新の研究成果を詳しくご紹介いただきました。

続いて、相澤康則先生（東京工業大学\*大学院 / 神奈川県立産業技術総合研究所 / 株式会社 Logomix）から「ゲノム大規模構築によるゲノム機能探究とその産業展開」と題してご講演いただきました。ヒト細胞で100 kb オーダーのゲノム領域を正確に改変する技術（UKiS法）の開発や、日本から唯一参加した国際コンソーシアム Sc2.0での出芽酵母の人工第4染色体構築、これらのゲノム改変技術を活用した新たな人工細胞システムの開発など、学術的にも魅力的で産業発展にも資する最先端の研究内容をご紹介いただきました。

最後に、山本一彦先生（神戸大学大学院 / 株式会社 シンプロジェン）から「バイオエコノミー実現の影のプロデューサーとは？」と題して講演いただきました。米国を中心とした世界のバイオエコノミーの潮流や国家戦略などの施策から始まり、DNA合成やゲノム編集、バイオものづくりなど、合成生物学ベンチャーが発展してきた経緯や、バイオエコノミー実現の影のプロデューサーとも言える米国ディープサイエンス系の超一流ベンチャーキャピタルの存在、スタートアップの成功の秘訣など、普段の学会では聞くことのできないアントレプレナーシップと深く関わる詳細な分析内容をわかりやすくご説明いただきました。

大盛況のまま閉会した講演会から場所を移して、吹田さんくすホールで開催した懇親会は、関西支部長である東先生のご発声を頂戴して、おいしいアサヒビールのビールで乾杯し、講師先生方にもご参加いただきながら大いに親睦・交流を深め、最後に秦会長からのお言葉も頂戴しました。

最後になりましたが、今回の会場をご提供いただき、準備、運営で大変お世話になりましたアサヒビール株式会社およびアサヒグループ食品株式会社を含むアサヒグループの皆様には厚く御礼申し上げます。また、講師の先生方ならびに参加者の皆様におかれましても、本会を大いに盛り上げていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

関西支部では、今後も「醗酵学懇話会」を、産官学や世代・地域の垣根を越えて議論・交流できる場として提供できるよう企画してまいります。

\*現東京科学大学 開催当時の名称で記載しています。

（関西支部企画幹事 石井 純、赤塚浩之、大橋貴生、佐藤喬章、千住浩之、戸谷吉博、森 英樹）



アサヒグループ食品  
高橋夢月先生



東京工業大学\*  
相澤康則先生



神戸大学  
山本一彦先生



懇親会の様子